

単元名：中国の友人にお祝いのメッセージを送ろう																																	
科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー																												
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-																												
話題分野	行事	言語レベル	1	必要時間数	6時間																												
I 単元目標																																	
日本にいる中国人に、中国の祝祭日を祝いカードを送り、その祝祭日を祝い行事と一緒に参加し、その体験記を書いて発表することができる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>言語</th> <th>文化</th> <th>グローバル社会</th> <th>学習者</th> <th>教室外</th> <th>他教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わかる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>できる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td>😊</td> </tr> <tr> <td>つながる</td> <td>😊</td> <td>😊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる	😊	😊	😊				できる	😊	😊	😊	😊	😊	😊	つながる	😊	😊				
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる	😊	😊	😊																														
できる	😊	😊	😊	😊	😊	😊																											
つながる	😊	😊																															
言語領域		文化領域		グローバル社会領域																													
<ul style="list-style-type: none"> ◆行事に関する語彙について、読んで意味を理解することができる。 ◆中国の行事に関する語彙の特徴(「～節」など)に気づくことができる。 ◆お祝いのメッセージを書くことができる。 ◆お祝いのメッセージを話すことができる。 ◆カードを渡す相手に、渡す時に一言添えることができる。 ◆中華街の行事に参加しながら、積極的に対話し、交流することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆中国の誕生日の過ごし方に関心を持ち、日本の誕生日の過ごし方と比較することができる。 ◆お祝いのカードに書く言葉から、日中での気持ちの表し方にある背景を考えることができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆写真やイラストをデジタル化し、フォトショップなどを使って、電子か紙のお祝いのカードを作成することができる。(情報活用) ◆行事や祝祭日の社会的、文化的意味を理解することができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>																													
コミュニケーション能力指標		<p>【行事】</p> <p>1-a. 行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼など)の名称・月日を、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>1-b. 行事(年中行事、祝祭日、記念日、通過儀礼など)の名称を、見て理解したり、書いたりできる。</p> <p>1-d. 祝祭日や記念日・通過儀礼の決まり文句やお祝いのことばを、見たり聞いたりして理解できる。</p> <p>1-e. 祝祭日や記念日・通過儀礼の決まり文句やお祝いのことばを、言ったり書いたりして伝えることができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル指標表番号】を表示している</p>																															
		II 評価																															
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
<ul style="list-style-type: none"> ◆行事にふさわしい決まり文句を使ってお祝いのメッセージを言う。(発音の正確さ、伝え方の適切さ) ◆お祝いのカードを作る。(必要な情報・オリジナリティ・表現の適切さ) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆キャプションつきの行事写真、或いはプレゼン資料を見せながら発表する。(内容の適切さ、情報量、表現の正確さ、旧暦か新暦の把握等) ◆中華街の行事に参加した体験記を書いて発表する。(情報量や予想される質問にどれだけ説明できているか、他の人の発表にどれだけ質問してきたか等)。 																														

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆誕生日を聞きあったり、中国のカレンダーの読み方を練習する。【1-a】</p> <p>◆行事を指差してその日に相応しい挨拶をしたり、行事に関する挨拶をしてからそれがどんな日の挨拶かを当ててもらおう。【1-d,e】</p> <p>◆誕生日カード(年賀状)を作る【1-e】</p> <p>◆日本のカレンダーに中国の年中行事や祝祭日を書きこむ。＜春節、入試日程、新暦・旧暦など＞【1-b】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> W高校の中国クラスの生徒たちは、知り合いの中国人と一緒に中華街に行き、日本にいなから中国の祝祭日を体験することになった。</p> <p><活動の流れ> 横浜中華街の端午節祭り、中秋節祭り、あるいは、春節祭りについて調べて、その情報をメールで中国人の友人に知らせ、お祝いのカードを添えて、一緒に行かないかと誘う。できればお互いの友達も誘って、楽しい一日になるように工夫してみる。中国人の友人と一緒に行く前に、中国にどんな祝祭日があるのか、その日に何をするのか、日本とどう違うかなどについて調べて、当日に話す話題をいくつか用意する。 当日は、デジカメやビデオを用意し、出来るだけ行事の様子を家族や他の友人に紹介したり、クラスで発表したりできるように記録する。 帰ってからそれを整理して、写真入りの簡単な体験記を書き、クラスで発表するか、お礼のメールと一緒に友人に送る。また、加工して自分かクラスのブログ、ホームページに載せる。</p> <p>ヒント☞ ◆中国の友人がいない、近くに中国の行事を祝うイベントがなければ、友だち同士でお互いにお祝いカードを中国語で送る。 ◆お正月に中国人の友だちを家に招待する活動をしてよい。</p>	
<p><使用教材・教具> デジカメやビデオカメラ、パソコン、カード、ハガキ用紙</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 十月一号是中国的国庆节。/五月五号是什么日子?/今年的春节是几月几号?(是哪天?)/新年好!/过个好年。/你们过儿童节吗?/恭喜,恭喜!/祝你新年愉快!</p> <p><表現のポイント> 月日の言い方、A+“是”+B、“什么”、“祝～”</p>	<p>祝祭日の言い方(“元旦・春节・端午节・中秋节”など)、お祝いの言葉(“恭喜, 祝、快乐, 愉快”など)、質問文を作る時使う言葉(“什么・几・哪天・吗”)、数字、期日についての言葉(“月, 号, 星期”など)</p>	<p><事象> ◆中国と日本の代表的な年中行事や祝祭日 ◆行事の地域性 ◆行事や祝祭日の意味</p> <p><事象のポイント> ◆日中で似た年中行事や祝祭日があるか、その由来について関係性があるのか、日中独自の行事はあるかなどについて知る。 ◆日中で似た行事の祝い方を比較する。 ◆同じ行事でも祝い方に地域差があったり、同じ国でも地域や民族によって行事がことなったりすることを知り、その由来や変遷、祝う人の意識などについて考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
中国人の友人、中華街、中国の祝祭日関連のイベント		社会・国語